義経上陸の地

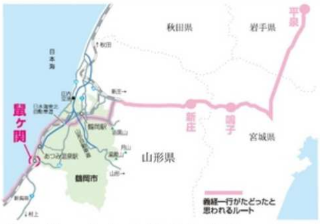
ねずがせき

鼠ヶ関

NEZUGASEKI

山形県鶴岡市

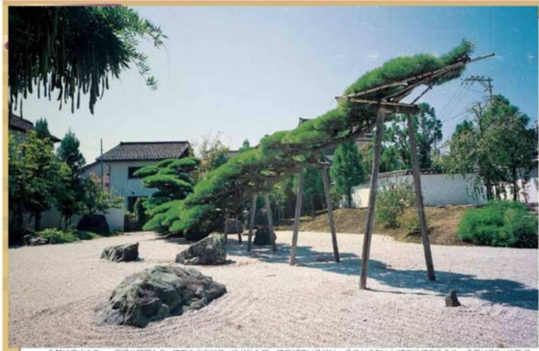
弁慶、荷物をよこせ。関所が見えてきたぞ・・・



義経伝説

ここ鼠ヶ関は「白河の関」、「勿来の関」と並ぶ奥羽三大古関のひとつで、勧進帳の舞台になった場所といわれています。一一八六年、兄の頼朝に追われた義経一行は、青春時代を過した奥州平泉をめざし、京の都から琵琶湖を渡り、幕府の監視が手薄だった北陸道を選び、越前、越後と日本海を北上、庄内に入り念珠関、三瀬、清川、瀬見から亀割山を越えて平泉にたどり着いたといわれています。

鼠ヶ関地内には数々の義経にまつわる文化資源があり、毎年四月には、「義経上陸の地鼠ヶ関を歩こう会」が開催され、県内外から多くの方が訪れています。



主幹は高さ4.2m、目通り幹囲1.2mで東北方向に7mほど地を這って伸びている枝は、そこから斜上して支柱で支えられ、全長は20mに及ぶ。

nenju no matsu

念珠の松庭園

ねんじゅのまつていえん

■庭園面積　1,758.75㎡
■施設の概要
①縁石·敷石·飛石·階段　中国産御影石
②白砂　白川砂
③景石　群馬県産青石
■開園時間
4月〜10月　9:00〜17:00
11月〜3月　9:00〜16:00
■庭園維持協力金　1人　100円

「念珠の松」は今から約四〇〇年前、元村上屋旅館　佐藤茂右エ門が盆栽の松を庭に地植えし、これを代々続けて庭師に手入れさせ、つくり上げた黒松です。

終戦前は「村上屋の臥龍の松」と呼ばれ、鼠ヶ関駅に停車した汽車からその美しい全景を見ることができました。

昭和三十年八月一日に山形県の天然記念物に指定され、平成六年に世界的に有名な造園家 中島健氏の設計により、現在の庭園が完成しました。

マリンレジャー情報

鼠ヶ関マリーナ

多くのプレジャーボートやヨットが係留されるマリンスポーツの拠点。平成4年の「べにばな国体ヨット競技」や平成13年の「2001国際FJ級ヨット世界選手権大会」の会場ともなり、シーズン中は、セーリングスポーツやマリンレジャー基地として大勢の人で賑わいます。
問:0235-44-3199（鼠ヶ関マリーナ）

鼠ヶ関キャンプ場

夕陽の輝く見晴らし絶好のキャンプ場は、車で浜まで乗り入れできるバンガロー村とテント、キャンピングカーでの利用ができます。

マリンパークねずがせき

平成18年に環境省の快水浴場百選に選定されたマリンパークねずがせきは、波は穏やかで、ファミリーで安心して海に親しむことができます。また、海水浴場のほかに多目的に使えるイベント広場や芝生広場、スポーツ広場などが整備されています。

観光ボランティアガイドのご案内

鼠ヶ関をこよなく愛する地元ガイドが、
鼠ヶ関の良さや見どころをご案内します。

案内時期：通年
案内地域：鼠ヶ関地内
ガイド料金：1時間1,000円
ご利用方法：事前予約（2週間前）が必要です。
受付時間：8:30〜17:00（土、日、祭日を除く）
問合せ先：鼠ヶ関海洋センター内鼠ヶ関地域協議会
「蓬莱塾」　TEL 0235−44−2112

イベント・見どころ情報

うまイカ 干しイカ イカまつり

イカの一夜干しは鼠ヶ関の風物詩。6月に開催されるイカまつりは、まさにイカづくし。新鮮なイカの販売のほか、漁師料理のイカ汁、イカ焼きやイカ飯などの旬のイカの美味しさを満喫できます。

天然岩ガキフェスティバル

鼠ヶ関沖のミネラル豊富な日本海の潮流で育った栄養バツグンの岩ガキは「海のミルク」とも呼ばれています。7月に行われる岩ガキフェスティバルでは新鮮な岩ガキを味わえるほか、岩ガキ早むき大会などのイベントも行われます。

厳島神社例祭（神輿流し）

毎年4月15日に行われる厳島神社の例祭では、白装束の若者が神輿を担いで集落内を回ったあと、雪解け水が流れる鼠ヶ関川に入り、豊漁と豊穣を祈り水を掛け合う勇壮な祭りです。

鼠ヶ関漁船クルージング

底曳船の休漁期間を利用して「漁船クルージング」を7月中旬から8月下旬までの約1ケ月半、運行しています。
平日は夕陽クルージングを1回、土日は朝·昼を含む3回で運航。船長さんの楽しいお話を聞きながら、漁師になった気分で波しぶきを浴びてください。地元の魚を使ってのウミネコ餌付けも好評です。
問:0235-43-3547（あつみ観光協会）

大漁旗フェスティバル

鼠ヶ関は近海ものの水揚げ県内随一を誇る漁業の街。大漁旗フェスティバルは、鼠ヶ関の漁業資源を活用したイベントで新鮮な鮮魚が格安で手に入る大好評の感謝祭です。このイベントは5月の連休中に開催され、県内外のお客様で賑わいます。

会場の鼠ヶ関港では、鮮魚販売のほか、漁船クルージングや魚のつかみ取りなどが行われます。

お魚夕市

鼠ヶ関港市場でセリ落とされたばかりの新鮮な魚介類を、スーパー等店頭に出回る前に市場付近の会場にて販売します。また、水揚げされた旬の魚介類をふんだんに用いた「海の鍋合戦」や「鼠ヶ関のうまいもの販売」も好評です。他に「市場見学会」「分け魚つめ放題販売」「弁天太鼓子供会演打」など内容盛りだくさん。例年9月、10月に開催されます。

鼠ヶ関へのアクセス

電車で
ＪＲ羽越本線（特急）　新潟⇒あつみ温泉　約1時間30分
あつみ温泉から車で15分
ＪＲ羽越本線（普通）　村上⇒鼠ヶ関　約1時間
鶴岡⇒鼠ヶ関　約40分
あつみ温泉⇒鼠ヶ関　約10分

お車で
日本海東北自動車道　あつみICまで
仙台より　約3時間（山形自動車道、日本海東北自動車道）
山形より　約2時間（山形自動車道、日本海東北自動車道）
※仙台、山形から鶴岡まで高速バスが運行しています。
新潟より　約1時間50分（日本海東北自動車道）
秋田より　約3時間30分（日本海東北自動車道）

鼠ヶ関の宿泊一覧

❶丸イ旅館	鼠ヶ関乙82	TEL0235(44)2077	■収容人員·50	■料金·8,400〜
❷民宿 大貫	鼠ヶ関甲143	TEL0235(44)2323	■収容人員·20	■料金·7,350〜
❸民宿 丸武	鼠ヶ関乙208-23	TEL0235(44)2185 FAX0235(44)3161	■収容人員·40	■料金·7,875〜
❹民宿 咲	鼠ヶ関乙24	TEL0235(44)2329	■収容人員·20〜25	■料金·8,400〜
❺民宿 御番所·地主	鼠ヶ関甲246	TEL0235(44)2357 TEL&FAX048(255)6579（川口連絡所） E-MAIL：cq525um9@rapid.ocn.ne.jp	■収容人員·30 ■営業期間　5月連休、夏の海水浴期	■料金·6,825〜
❻しおさい荘	鼠ヶ関乙45	TEL0235(44)2751	■収容人員·20	■料金·8,400〜

鼠ヶ関の飲食店一覧

			定休日
㋐鮨処朝日屋	TEL 0235(44)2855	12:00〜24:00	月曜
㋑イカリ食堂	TEL 0235(44)2332	11:00〜22:00	木曜
㋒花茶屋 れもん亭	TEL 0235(44)2848	11:00〜23:00	水曜
㋓英「はなぶさ」	TEL 0235(44)3455	17:00〜22:00	火曜
㋔パブスポット·G7	TEL 0235(44)2014	19:30〜24:30	月曜

◎観光・宿泊・コースのお問い合わせ

あつみ観光協会　TEL0235-43-3547
〒999-7204 山形県鶴岡市湯温海甲306
URL http://www.atsumi-spa.or.jp/　E-mail info@atsumi-spa.or.jp

鼠ヶ関地域協議会「蓬莱塾」　TEL0235-44-2112
〒999-7126 山形県鶴岡市鼠ヶ関丙150（鼠ヶ関自治会内）
URL http://nezugaseki.net/　E-mail nezugaseki@lapis.plala.or.jp

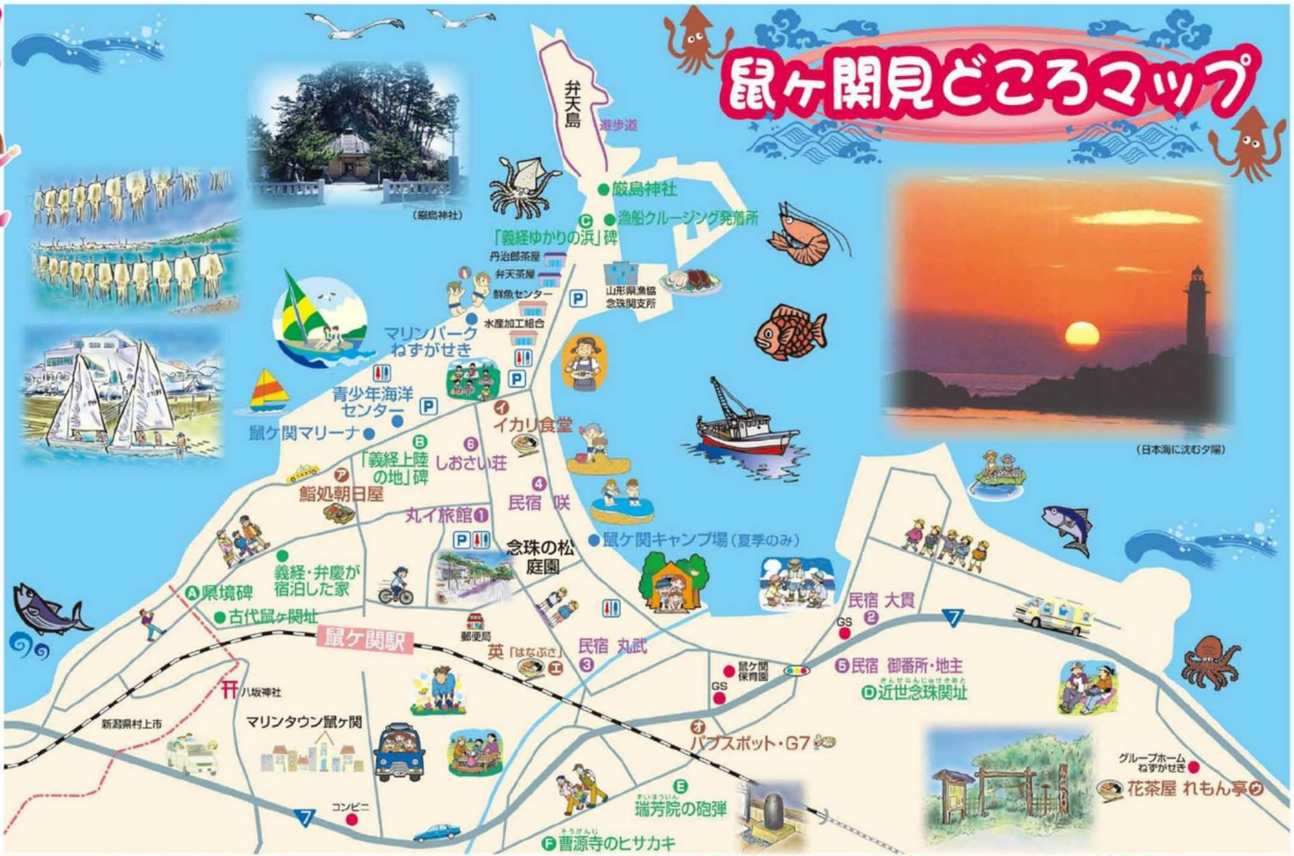
鶴岡市温海庁舎産業課　TEL0235-43-4617
〒999-7205 山形県鶴岡市温海戊577-1
URL http://www.city.tsuruoka.lg.jp/　E-mail norin-at@city.tsuruoka.lg.jp

---

ウォーキングモデルコース

スタート!! 鼠ヶ関駅
0.3km⇒5分
県境
古代鼠ヶ関址
0.5km⇒7分
義経上陸の地碑
0.6km⇒7分
義経ゆかりの浜碑
厳島神社
弁天島
0.9km⇒10分
近世念珠関址
0.2km⇒5分
瑞芳院の砲弾
0.2km⇒5分
曹源寺のヒサカキ
0.8km⇒10分
念珠の松庭園
0.2km⇒5分
ゴール!! 鼠ヶ関駅

鼠ヶ関見どころマップ



（日本海に沈む夕陽）

Ⓐ 県境碑

鼠ヶ関は新潟県村上市（旧山北町）との県境に位置し、村のまん中にある山形県と新潟県の境に石碑が建立しています。

県境を訪れた記念を刻印できる記念スタンプも準備されています。また、古代鼠ヶ関址がすぐそばにあります。

Ⓑ「義経上陸の地」碑

鼠ヶ関マリーナの道路向かいにあり、昭和61年、直木賞作家·故村上元三氏の筆によって書かれた石碑です。

当時、建立を記念して村上氏による記念講演が行われ、村上氏は調査の結果、鼠ヶ関が義経上陸の地であることを確信したとお話されています。

Ⓒ「義経ゆかりの浜」碑

厳島神社境内にあるこの碑は、昭和41年テレビドラマ「源義経」の放映による大人気を受け、兄頼朝を逃れ、京から奥州平泉に向かう義経が日本海を舟で渡り、上陸したことを紹介したものです。

この碑の先の弁天島は、遊歩道で周遊することができ、美しい夕陽スポットとしても知られています。

Ⓓ 近世念珠関址

国道7号沿いに位置するこの関所址は、今から1300年前、蝦夷防衛のための前線基地でした。その頃は、現在の県境付近にあったことが発掘調査で確認されています。

今の関所は、荘内に酒井氏が入部された、1622年以後に整備されました。

Ⓔ 瑞芳院の砲弾

戊辰戦争時、弁天島沖の日本海から撃たれた砲弾が瑞芳院を襲ったが、境内のケヤキの木の幹にめり込み、寺への直撃を防いだとされている。その砲弾が今も寺に保管されている。

Ⓕ 曹源寺のヒサカキ

鼠ヶ関の山側にある曹源寺の裏庭にあり、ツバキ科の植物で南北に相対して二株植えられている老木です。

今から400年程前に諸国巡礼に向かおうとした佐渡の峯庵禅師が鼠ヶ関沖で難破したのを助けられ、この寺で手厚いもてなしを受けたお礼に植樹したものという言い伝えがある。